

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①ICT教育を推進している本校の教育活動に積極的に取り組んでいると自己評価している生徒が75%以上である。	・積極的な授業への取り組みを目指した指導の実践 ・アンケートによる調査	A	A	ICT機器を効果的に活用した授業展開の工夫を図る。適正な管理を行い、故障等のないようにする。	A	A	授業に積極的に取り組んでいる生徒の割合は高いが、家庭での学習状況は期待通りではない。家庭学習に取り組ませる工夫が必要である。
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。	・活動状況及び大会等の成果の確認 ・アンケートによる調査	A	A	運動部・文化部ともに多くの部活動が活発に活躍した。前半の成果や反省を元に、更なる強化を推進する。	A	A	運動部・文化部の積極的な活動を今後も学校全体で推進していく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。	・きめ細かい指導の実践 ・授業アンケートによる実態把握	A	A	ステップアップサポート事業の一層の推進・充実を図る。関連して授業アンケートを実施する。	A	A	学力向上のため、きめ細かく丁寧な指導を粘り強く繰り返していく。
		④資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が意欲的に取り組んでいる。	・検定試験等合格に向けた取組の充実 ・アンケートによる調査	A	B	資格取得の重要性を深く理解させ、意欲的に取り組む態度を育む。	A	A	資格を取得することが、進路選択の幅を広げる事を意識させ、資格取得も可能な授業の工夫、改善を行っていく。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が75%以上である。	・学習指導の充実、定期試験対策補習等の実施 ・アンケートによる調査	A	B	朝学習や学年補習、部活動単位等の補習を行い、学習につまづきのある生徒に対する補習を強化する対策を講じる。	A	A	学習につまづきのある生徒の実態を把握し、個別指導を行うなど対策を行っていく。
		⑥全商関係の検定試験合格率が70%以上である。	・教科・科目の目標達成とともに資格取得にもつながる質の高い授業等の実施	B	—	1学期終了時点では、合格率が58%であった。生徒自身が目的を持って資格取得に取り組めるように支援する。	D	—	2学期終了時点では、合格率39%であったが、これは、難易度の高い資格に積極的に挑戦した結果である。難易度の高い資格取得に挑戦する生徒のための支援体制を整えていく。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。	・職員会議、学年会議、運営委員会での情報共有 ・アンケート調査	A	—	各学年、運営委員会、職員会議等で情報交換を行い、共有を図る。また、教職員間の連携を深め生徒の支援を行う。	A	—	支援を必要とする生徒についての情報交換を行い、スクールカウンセラー、教育相談等と連携を密にしていく。
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。	・生徒会・専門委員会の充実 ・アンケートによる調査	A	A	生徒会が中心となり生徒の意見集約を行う。また委員会活動の生徒発表を全体で行うなど検討する。	A	A	生徒会が主体的に各種行事で取り組める環境作りや改善を進めていく。
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。	・施設委員を活用した校内巡視による点検後、点検一覧表の作成 ・空き教室利用や机イス等の更新	A	—	校内清掃用具の充実を図り、校内の美化を進める。安全点検を実施し、修繕の必要なところは速やかに対応する。	C	—	施設委員を活用した校内巡視や点検等を行い、校内の美化活動の推進を図っていく。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。	・定期的な登校時指導、遅刻防止指導の実施 ・保護者への協力・支援 ・欠席・遅刻・早退率の把握 ・朝の10分間読書の実施	A	A	1学期の終了時点では、欠席率0.8%、遅刻率0.1%、早退率0.1%であった。欠席率、遅刻率、早退率ともに昨年度同時期とほぼ同水準である。引き続き、家庭との連携を密にし、欠席・遅刻防止指導を実践する。	A	A	1・2学期終了時点では、欠席率1.0%、遅刻率0.2%、早退率0.1%であった。昨年の同時期と比べ欠席率がやや低い状況である。引き続き欠席、遅刻の防止指導を行っていく。
		⑪挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。	・定期的な登校時指導、遅刻防止指導、服装指導の実施・保護者への協力・支援 ・アンケートによる調査	A	A	毎朝の登校時指導や集会前の服装確認を行っている。今後も継続し、折りに触れて生徒の意識もさらに高める。	A	A	毎朝の登校時指導や集会時に挨拶やマナーに触れることにより、生徒の意識が高まっている。今後も継続して実施していく。
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑫学校は、いじめ防止や早期発見に向けて取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が85%以上である。	・いじめアンケートの実施 ・教育相談アンケートの実施・面接	A	A	SNS等によるいじめは問題の把握が難しいが、集会やアンケートをとって早期発見を行う。	A	A	いじめは問題の把握が難しいが、アンケート等を利用し、早期発見・早期対処を心がけ、いじめの芽を摘んでいく。

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。
A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 「進路のてびき」の活用及び「進路ガイダンス」や講演会など外部機関との連携による進路指導の充実 アンケートによる調査 	A	A	全校集会や保護者会等で進路を決めるうえで大切なことや企業が求める人材について、今後も発信していく。また、外部講師の活用等を進め進路意識を高めていく。	A	A	3学期には、1・2年生を対象とした進路ガイダンスを実施し、進路の意識を高めていく。
		⑭進路通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な「進路たより」の発行 3学年へは具体的情報を提供 アンケートによる調査 	A	A	本校の進路指導について生徒も職員も理解を深めるため、ニーズにあった情報発信をしていく。	A	A	低学年から進路に対する意識を高めるための情報発信としての「進路たより」の発行を今後も継続していく。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について真剣に考えている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 就業体験等によるキャリア教育の充実 ホームルーム活動や教科における進路学習の充実 アンケートによる調査 	A	A	就業体験やビジネスマッチングフェアの参加等、職業や生き方に関わる学習を行っている。	A	A	挨拶をはじめ社会人としての心構えなど学校生活全般から学ばせる指導を継続し、意識付けを図る。
		⑯進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実 早期の進路目標設定と個に応じた指導の実践 アンケートによる調査 	A	B	各学年に応じた進路指導を進路指導部と学年とが連携して行っている。今学習していることや資格がどう将来につながっていくかLHRや学年集会等で指導する。	A	B	1年生に3年生が自らの進路体験を語る会を実施し、低学年から進路目標を設定させる取り組みを継続していく。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学年別保護者会に積極的に参加している保護者が95%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年保護者会等、PTA主催行事への積極的な参加及び行事内容等の充実 ホームページの充実 地域社会への情報提供 地域との文化祭やカルチャー講座等を通じた交流 	A	A	3学年保護者会の出席者は、231/239で出席率96.7%であった。他の行事においても多くの方が参加出来るよう、内容や実施方法を工夫していく。	A	A	1学年234/241で97.1%であり、2学年の保護者会の出席者が224/233で96.1%であった。 c
		⑱学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 文化部及び運動部を中心とする各種カルチャー教室の充実や地域諸行事への積極的参加 桐商たよりの配布 アンケートによる調査 	A	B	学校説明会で、保護者の98%、中学生の97%が理解に役立ったと回答している。今後も中学校へ出向いての説明会やホームページの充実など本校の教育活動を理解してもらう努力を継続する。	A	B	商業科の授業において地域と連携した課題解決プロジェクトを実施した。校内での発表だけでなく、その様子をホームページに掲載するなど情報発信を行っていく。

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成